

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成23年9月1日(2011.9.1)

【公開番号】特開2011-89698(P2011-89698A)

【公開日】平成23年5月6日(2011.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-018

【出願番号】特願2009-243247(P2009-243247)

【国際特許分類】

F 24 F 13/20 (2006.01)

F 24 F 11/02 (2006.01)

【F I】

F 24 F 1/00 401 E

F 24 F 11/02 103 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年7月14日(2011.7.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

室内機の内側に配設され、赤外線により温度を検出する輻射センサーを保持して左右に回転可能なセンサーホールダーと、

前記室内機の内側に配設された駆動モーターによって左右に回転駆動される扇状連結部材と、

前記センサーホールダーの一端側外周の略半周にわたって放射状に突設され、2つ1組で中央と左右の3組からなる6つの突起と、

前記扇状連結部材の外周縁側の真ん中と、左側と右側に位置してそれぞれ設けられ、前記中央の組の2つの突起の間と、前記左の組の2つの突起の間と、前記右の組の2つの突起の間にそれぞれ回転角度に応じて嵌り込み、突起を押して前記センサーホールダーを回転させる3つのピンとを備え、

前記センサーホールダー又は前記扇状連結部材のうち、少なくともセンサーホールダーが摺動特性を有し、弾性変形する性質の素材で形成されていることを特徴とする空気調和機。

【請求項2】

前記摺動特性を有し、弾性変形する性質の素材はポリアセタール又はアセタール樹脂であることを特徴とする請求項1記載の空気調和機。

【請求項3】

前記センサーホールダーの各組の2つの突起の内側面は、互いに平行な直線部分と、該直線部分の先端から前記ピンと接する側と反対側へと折れ曲がった折曲部分を有していることを特徴とする請求項1又は2記載の空気調和機。

【請求項4】

前記センサーホールダーの各組の2つの突起の間の寸法は、前記ピンの外径より小さい寸法に形成されていることを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の空気調和機。

【請求項5】

前記センサーホールダーの各突起は、その幅の寸法より高さ寸法が大きく形成されていることを特徴とする請求項1～4のいずれかに記載の空気調和機。